

豊橋サイエンスコアでIoT導入講習会を開催

<工場にワイヤレスIoTを導入するため必要な知識を習得>

総務省東海総合通信局(局長 吉武 久)は、令和2年1月31日(金)、豊橋市の豊橋サイエンスコアにおいて、東海情報通信懇談会(会長 岩田 彰 名古屋工業大学名誉教授)との共催により、「工場向けワイヤレスIoT講習会in豊橋」を開催し、ワイヤレスIoTの導入・管理に関わる方や工場関係者など31名が参加しました。

近年、製造業の分野では、労働人口の減少や熟練工の不足、多品種少量生産の拡大などに対応するため、IoT機器の導入が進められています。IoT機器の中でも工場内に新たに配線を必要としない無線通信(ワイヤレス)を使用したIoT機器は、電波の混信や障害が原因で機械設備が制御不能になることやデータに欠損が生じるなど思わぬトラブルが発生する可能性もあるため、適正な取扱い方法を理解する必要があります。

講習会では、無線通信の基礎知識や工場における無線通信の特徴、現場での電波環境の確認手法、ワイヤレスIoTの導入手順などの座学講習と実機を用いた体験型講習を受講していただきました。

体験型講習では、簡易的なスペクトラムアナライザを使用して、周囲の2.4GHzと5GHz帯の無線LANの使用状況や無線LANの電波が遮蔽物により減衰するといった電波の特性をパソコンで確認。IoT機器(加速度センサや距離センサ)から取得したデータをグラフ化するなど生産ラインの可視化に必要な技術を演習形式で受講していただきました。

参加者からは、「電波干渉は座学では難しかったが、実機を用いて体験することで理解が深まった」「カメラ、光センサー、磁気センサー、温湿度センサーなどIoTを組み合わせた事例をもっと勉強して、工場内の設備の動作状況を可視化したい。」などの感想が聞かれました。

東海総合通信局では、今後もワイヤレスIoTの導入を支援する講習会や体験型セミナーなどを開催し、IoT時代に必要な人材を育成していきます。

お問い合わせ先:情報通信部情報通信連携推進課 052-971-9313



講習会の模様



実機演習の模様